

「高取町の議会議員への公開質問状」

「高取版総合戦略」についての回答をいたします

高取町議会議員

浅井 賢治

地方創生の為にはまず何と言っても人口の減少を止めなければならないと思います。

高取町も三町村が合併した60年前には人口は約12000人ありました。本年8月末では7000人を割ろうとしています。その為にも若い人の人口を増やさなければならないと思います。

人口の増加には若い世代の人達への支援が必要であると思います。

例えば、結婚をして町内に在住すれば祝金として100万円、住宅手当月額10万円(10年間)、子供一人に対して月額5万円(18歳まで)等支給する。又住民税の軽減等。

そして子供を育てやすい環境作りが必要である。放課後の児童クラブの充実や地域の保育所と連携して夜間9時頃まで預り、若い共働き夫婦が安心して暮らせる町づくりをめざす。

又、地方創生には若い人の力が必要であると思います。町議会にも若い人に出ていただき町を考えていただきたい。現在8名の議員の殆どが60歳以上であります。若い人が町議会議員として働ける環境づくりが必要だと思います。例えば若い人で妻帯者は〇〇手当てや子供手当てをつけ安定した生活と教育に見合う報酬が必要であり一方、55歳以上の議員は報酬を削減し、又年金の受給者はさらに低くする。

実際、九州のある町村では若い議員の報酬が高く55歳以上の議員は低くされています。

又、本年10月からは議員報酬プラス年金プラス他の収入があつて一定の金額を超えると年金の支給が停止されます。

次に高齢者にやさしい町づくりをめざす

高取町の高齢者(65歳以上)比率は毎年上がり、まもなく40%を超えようとしています。

車の運転が出来なくなった高齢者だけの家庭では買い物や病院への日々の生活に困っておられます。

その為町内を循環するバスの運行を行う。コース：各大字一駅一役場一リベルテホール一病院一

商店等 運行に当たっては無料ではなく乗車1回100円～300円程いただき又、企業、個人の寄付及びバス広告をいただき運行の財源の一部にあてる。又高齢者世帯への緊急連絡装置を設置する。

観光産業について

今、成長している産業は観光産業である。飛鳥一高取一吉野とコラボした観光開発。

例えば大阪では壺阪壺伝記や吉野千本桜の歌舞伎や文楽を観劇し実際に当地を見ていただき町内の薬膳料理や茶席を作り観光産業にする。高取、吉野を見ていただき吉野山の温泉旅館で宿泊していただく。

高取町の特色のある「道の駅」をつくる

国道沿いに駐車スペースとして観光バス約20台、マイカーで約200台も広い駐車場を作り観光案内所、バスのトイレや休憩所や地元の特産品や近隣町村の物産を販売し又2週間に1回程度は漁村と連携して鮮魚の販売を行う。敷地内には地元の古墳等で発見された埋蔵文化財の展示室を作り、薬の町でもあるので資料館を作り健康食品などを販売する。

耕作放棄地の解消

これから益々耕作放棄地が増える可能性がある。高齢化進み採算の合わない農業ＴＰＰ交渉が成立すれば米の輸入も増え水田の放棄地も増える可能性がある。耕作放棄地を利用してポニーの里ではトウキやヨモギの栽培をされておられる町全体で利益の出る作物も考えなければならない。又国、県からの「多面的機能支払交付金」で一部大字で活用されていますがこれも全大字で取り組めば良い。

健康の森へ企業または公共施設を誘致する。